

社会福祉法人アス・ライフ

第 2 期：平成 22 年度事業報告

平成22年 4 月 1 日～平成23 年3月 31 日



目 次

I. 概要	2
II. 実施事業	3
(1) 障害者福祉サービス介護保険に係る事業	
1. 障害スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業	3
1-1. 障害者スポーツ団体組織化および運営支援事業	
1-2. 障害者スポーツ研修会・大会への参加	
2. 障害者（児）および高齢者のデイサービス事業	3
2-1. 日中活動系サービス事業	
2-2. 児童デイサービス事業	
2-3. 日中一時支援事業	
2-4. 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業	
3. 障害者スポーツ用品製作及び販売	7
3-1. 障害者スポーツ用品の試作・製作	
4. 障害者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業	7
4-1. 居宅介護事業	
4-2. 訪問介護事業	
5. 障害者ならびに障害者についての啓発に関する事業	8
5-1. 講師派遣事業	
5-2. 全身性障害者移動介護従業者養成研修	
5-3. 視覚障害者移動介護従業者養成研修	
6. 障害者自立支援法に基づく移動支援事業	9
6-1. 移動支援事業	
III. その他の社会貢献	9
(1) 介護等体験実習生の受け入れ	
(2) ボランティアの受け入れ	
VI. 法人の運営に関する事項	10
(1) 平成22年度理事会・評議員会の開催	

I 概要

平成 16 年 2 月 17 日に特定非営利活動法人の認証を受け名称をアス・ライフサポートとしてスタートした。平成 16 年 7 月に支援費制度（当時）および平成 16 年 8 月に介護保険事業を開始、制度の変遷の波にもまれながら、独自の障害者支援の道を歩んできた。

平成 20 年 2 月 4 日に第 1 回社会福祉法人アス・ライフ設立準備委員会を開催し、4 回に渡る準備委員会を重ねて平成 21 年 7 月 8 日に山口県から社会福祉法人の認可を頂いた。翌年に山口県、山口市の施設整備補助金を頂き、念願であった施設建設工事をおこない平成 22 年 2 月 26 日に竣工した。

施設の完成に伴い N P O 法人アス・ライフサポートの全ての事業、資産、負債を平成 22 年 4 月 1 日付けにて社会福祉法人アス・ライフに継承し、駅通りの施設で障害者自立支援法による生活介護・機能訓練・生活訓練の障害者福祉サービス事業所の施設名を法人名と同じくアス・ライフとして開始した。

また大市町にあった介護保険通所介護事業所アス・デイサービスセンターを大市デイサービスセンターに名称を変更して 7 人定員にて、また訪問・居宅・重度訪問介護事業所アス・ヘルパーステーションは名称を引き継ぎ同事業所にて再スタートした。中園町にある児童デイサービスフォア・アスも現状を引き続き再スタートした。

平成 23 年 2 月 14 日には特別浴槽一式を山口県の支援基盤整備補助金を頂いて設置し、利用者の重度化に対応しサービスの質の向上に努め、介護保険・障害福祉サービスともに、利用者のニーズを大切にし、障害者・高齢者の在宅生活を底支えする支援を心がけた。

スポーツ支援では、日中活動系サービスでの練習機会の提供、ガイドヘルパーによる練習や大会参加の支援を積極的に行った。当団体事業所の利用者から初めて日本ボッチャ選手権大会及び J a p a n C a p の大会において日本一に輝いた選手が現れたことも特筆したい。収支面では、事業開始以来着実に利用者は増加して第 2 期は経常ベースで黒字決算となった。障害があろうとも生き生きと生活していくことを支えるというアス・ライフの理念を将来にわたって実現するため、まだまだ経営の改善に取り組んでいく所存である。



オーシャン（特浴）
一式



社会福祉法人アス・ライフ 本部
平成 22 年 2 月 26 日竣工

II 実施事業

(1) 障害者福祉サービス介護保険に係る事業

1. 障害者スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業

1-1

事業名 障害者スポーツ団体組織化および運営支援事業
概要 山口県ボッチャ協会、電動車椅子サッカーチーム「ブルーフォックス」事務局を山口市駅通り1-3-10 アス・ライフ内に設置し、期を通して運営支援を行った。



1-2

事業名 障害者スポーツ研修会・大会への参加
概要 以下のスポーツ大会への障害者の参加を支援した。

- ・第8回山口県障害者交流ボッチャ大会
平成22年8月1日、維新百年記念公園スポーツ文化センターアリーナ
- ・第10回キラリンピック兼第10回全国障害者スポーツ大会選考大会
平成22年5月9日、23日 防府市スポーツセンター陸上競技場、
維新百年記念公園他各会場
- ・山口県障害者フライングディスク交流大会2011
平成23年3月12日、山口県きらら博記念公園多目的ドーム



2. 障害者(児)および高齢者のデイサービス事業

2-1

事業名 日中活動系サービス事業

概要 障害者自立支援法の日中活動系サービスである「生活介護：定員25名」、「自立訓練（機能訓練）：定員12名」、「自立訓練（生活訓練）：定員6名」および日中一時支援のサービス提供をアス・ライフ（山口市駅通り）で行った。サービス提供日

は、毎週月曜から土曜日（祝祭日もサービス提供。年末年始は12月30日から1月3日まで休み。）とした。

今期は社会福祉法人移行後、障害者自立支援法制度でのサービス提供を行った初めての期となった。



利用者の身心や生活の状況・個性に応じて、入浴および昼食の提供、創作活動、機能リハビリ、社会適応訓練、カウンセリングおよびレクリエーションなどを行った。年間行事として、りんご狩り（平成22年11月12日、徳佐なかおりんご園）、クリスマス会（平成22年12月20日～25日、アス・ライフ）初詣（平成23年1月11日、防府天満宮）を行った。

とくに利用者一人一人と接することを大事にしながらサービス提供を行っている。身体介護は原則同性介護で行っている。

利用者数 登録利用者数（平成23年3月現在）

- ・生活介護：46名
- ・機能訓練：8名
- ・生活訓練：5名
- ・自費：2名
- ・合計：61名

のべ利用者数（平成22年4月～23年3月、事業日数：309日、単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	267	267	288	301	292	326	319	306	309	265	263	317	3,520 (2,406)
機能訓練	55	41	44	40	41	45	42	44	50	41	42	42	527 (858)
生活訓練	13	6	8	8	8	10	11	8	7	12	10	8	109 (195)
生活介護 自費利用	3	2	4	4	2	1	2	3	3	2	3	5	34 (20)
合計	338	316	344	353	343	382	374	361	369	320	318	372	4,190 (3,479)

※（ ）は前期（NPO法人平成21年2月～22年1月）実績

利用者数 登録利用者数（平成23年3月現在）

- ・日中一時：7名

のべ利用回数（平成22年4月～23年3月）

（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	16	19	19	19	22	24	26	18	18	28	37	258

2-2

事業名 児童デイサービス事業

概要

就学している障害児の放課後支援の受け皿が不足しているため保護者・家族が非常に困窮している状況を少しでも解消し、障害児が適切な療育を受ける機会を提供するため、児童デイサービスⅡ型の事業を行った。佐々野久男（元下関養護学校（校名：当時）校長）を施設長に山口市中園町の民家を賃貸し、定員10名でサービス提供をした。施設名は従来通り、フォア・アスとした。毎週月曜から土曜までサービス提供した。



利用者数 登録利用者数（平成23年3月現在）

59名（男子34名、女子25名）

のべ利用者数（平成22年4月～23年3月、事業日数：295日）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
249	215	249	255	227	235	250	220	220	206	214	235	2,775 (2,332)

※（ ）は前期（NPO法人平成21年2月～22年1月）実績

2-3

事業名 日中一時支援事業

概要

とくに学校の長期休業中には、就学障害児の預かりニーズが高くなる。通常の児童デイサービスの定員で受け入れできなくなるケースについて、児童デイサービス「フォア・アス」で日中一時支援による預かりで対応した。

利用者数 登録利用者数（平成23年3月現在）

47名（男子26名、女子21名）

のべ利用回数（平成22年4月～23年3月）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
33	1	4	48	38	9	10	9	38	36	27	44	297



2-4

事業名 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業

概要 大市デイサービスセンター（山口市大市町）で、高齢者デイサービスを行った。利用者の身体状況・個性に応じ、入浴・食事の提供、創作的活動、機能リハビリ、介護方法の指導、社会適応訓練、カウンセリングおよびレクリエーションなどのサービス提供を行った。

現在の公的介護サービスでは、障害者自立支援を利用する障害者も満65歳になれば、介護保険による介護給付もしくは介護予防給付に移行する。ライフスパンを通してアス・ライフの通所サービスを提供できるよう、介護保険および介護予防通所介護のサービス提供を継続している。

満65歳で障害者も介護保険に移行していくことは、障害者が生涯にわたって在宅生活をしたくと望むときに、大きな制度的障壁として立ちはだかる深刻な問題ではなかろうか。私たちとしてもこの問題には大きな関心をもっていきたいと考えている。



利用者数 登録利用者数（平成23年3月現在）

- ・介護保険通所介護：11名
- ・介護予防通所介護：0名
- ・合計：11名

のべ利用回数（平成22年4月～23年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	57	98	90	92	90	93	98	82	82	86	85	65	1,018 (844)

※（ ）は前期（NPO法人平成21年2月～22年1月）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (50)
合計	57	98	90	92	90	93	98	82	82	86	85	65	1,018 (894)

※ () は前期 (NPO法人平成21年2月～22年1月) 実績

3. 障害者スポーツ用品製作及び販売

3-1

事業名 障害者スポーツ用品の試作・製作

概要 アス・ライフにおいて、県障害者スポーツ協会と連携して必要とする利用者さんに適したボッチャ用ランプスおよび関連用具の試作・製作を行った。



4. 障害者(児)および高齢者の居宅訪問介護サービス事業

4-1

事業名 居宅介護事業 (障害者自立支援)

概要 障害者の在宅での自立生活を支援するため、山口市内外の利用者 に居宅介護および重度訪問介護のサービス提供を行った。

利用者数 登録利用者数

- ・居宅介護 12名 (名)
- ・重度訪問介護 1名

のべ利用回数

- ・訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
146	135	78	55	101	179	188	181	195	170	184	143	1,755

- ・重度訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	6	6	7	7	6	7	9	7	5	9	6	81

4-2

事業名 訪問介護事業（介護保険）
 概要 高齢者の在宅での自立生活を支援するため、介護もしくは支援を要する高齢者に介護保険訪問介護・介護予防訪問介護サービスの提供を行った。

利用者数 登録利用者数
 訪問介護： 13名
 介護予防： 11名
 経過的予防介護： 0名



(以下余白) のべ利用回数（平成22年4月～23年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	169	180	183	214	193	187	213	182	209	207	211	214	2,362
介護予防	57	57	60	53	60	64	60	62	72	62	56	78	741
合計	226	237	243	267	253	251	273	244	281	269	267	292	3,103

5. 障害者ならびに障害者についての啓発に関する事業

5-1

事業名 講師派遣事業
 概要 障害者に対する社会の正しい認識を高めるため、各種団体・小中学校・施設などの講演への講師派遣を行った。

5-2

事業名 全身性障害者移動介護従業者養成研修
 概要 尾畑敏江氏（山口コ・メディカル学院）をメイン講師に招き、アス・ライフで研修を実施した。尾畑氏の全身性障害者の移動介護の知識・技能を習得した人材を育成した。今期の研修は、平成17年の第1回以来、第9回となる。平成22年4月18日および4月25日（全2日間）に実施した。講習には13名が参加した。今回はホームヘルパーでない人も対象として受講生を募集したところ、1名の受講があり、これら1名については受講日を別途4月18日～23日の間の3日ほど規定の課程を実施した。13名全員が規定の全課程を修了した。今回の修了者を含め延べ169名の従事者を輩出した。



5-3

事業名 視覚障害者移動介護従業者養成研修

概要 平成17年以来、毎年度1回のペースで視覚障害者移動介護従業者（ガイドヘルパー）養成研修を実施している。今年度の研修を平成22年11月21日および28日に実施した。平成22年度の研修では、毎回受講生から好評の歩行訓練士・藤尾幸恵氏をメイン講師に招き、アス・ライフを主会場として研修を実施した。受講生は、視覚障害者の心理、白杖の使い方、視覚障害者の食事の介助、商店街での外出など、視覚障害者のための実践的な内容を学んだ。11名が受講し、11名が規定の課程を修了した。（旧）アス・ライフサポートから通算で5回目となるこの研修会の修了者は延べ72名となった。



6. 障害者自立支援法に基づく移動支援事業

6-1

事業名 移動支援事業（地域生活支援事業）

概要 全身性障害者・視覚障害者の移動支援（地域生活支援事業）を行った。

移動支援は、地域生活支援事業の一つとして障害者に提供される福祉サービスであり、事業所は利用者が居住する各市町と事業委託契約を結んでサービス提供を行う。外出時の介助が必要な障害者にとって、きわめて有意義な制度であり、アス・ライフがとくに力を入れている事業の一つである。（旧）アス・ライフサポートがサービス提供を始めた頃には、制度の存在自体の認知度が低かったが、サービス提供と従業者養成研修を合わせて実施してきたことで、行政担当者や利用者の間での認知が高まってきたものと自負している。

利用者数 登録利用者数 全身性： 25名
 視覚障害： 12名
 合計： 37名

のべ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身性	32	31	31	28	36	40	42	55	49	27	42	50	463
視覚	10	17	17	14	12	18	15	12	11	13	13	19	171
知的	3	3	5	4	1	4	0	0	0	0	0	0	20
合計	45	51	53	46	49	62	57	67	60	40	55	69	654

Ⅲ. その他の活動

(1) 「介護等の体験」実習生の受け入れ

教育職員免許法の特例にもとづく山口県社会福祉協議会の依頼により、「介護等の体験」実習生を年間を通して受け入れた。

今期は、合計18名（山口大学）の実習生を受け入れ、H22.6/14～9/24の間に、アス・ライフにて9名、H22.8/30～9/24の間に大市デイサービスセンターにて9名、それぞれ月曜から金曜まで各々5日間の実習をおこなった。また、介護基礎研修の実習生をアス・ライフにてH23.2/21～3/17に8名、大市デイサービスセンターにてH23.2/28～3/10に2名、アス・ヘルパーステーションにてH23.2/21～3/17に15名、合計25名を受け入れた。実習生は、高齢者・障害者とのコミュニケーションやレクリエーションを実地に体験した。

(2) ボランティアの参加

アス・ライフの活動に、多くのボランティアが参加した。今期は、囲碁、フラダンスなどの方をはじめ、17名の方がボランティアとして参加し、レクリエーションやボッチャ等のスポーツ活動の支援をしてくださった。

Ⅵ. 法人の運営に関する事項

(1) 平成22年度理事会・評議委員会の開催

平成22年6月 3日	第1回評議員会
平成22年6月 3日	第1回理事会
平成22年7月13日	第2回理事会
平成23年1月15日	第3回理事会

特記事項 社会福祉法人アス・ライフの事業活動のスタートにあたり、アス・ライフ、大市デイサービスセンター、アス・ヘルパーステーション、児童デイサービスフォア・アスの管理者の人事を承認した。

(以上)